

議会だより **せら**



地域防災の 精鋭たち

p.24に表紙紹介

■今号の主な記事

- こんなことが決まりました…………… 2～3
- 委員会は 今 …………… 4～6
- ありゃあどうなったかの～…………… 9
- ズバリ **町政の課題** 12議員23問を質す … 10～22
- アンケート調査のお願い …………… 23

No.54 平成30年7月13日発行
メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

発行／広島県世羅町議会 編集／議会広報広聴調査特別委員会

とが決まりました

第2回定例会は、6月5日から15日まで開会した。
一般質問は、12人が23項目にわたり町の施策を
質した。

議案7件、報告5件、承認2件、陳情4件、
発委1件を審議した。

主な提出議案

工事請負契約の締結

(仮称) 大田研修拠点施設整備工事

外1件

報告事項

・損害賠償に係る和解及び損害賠償額
の決定

外4件

条例の一部改正

・世羅町国民健康保険税条例の一部を
改正する条例

外1件

補正予算

・平成30年度世羅町一般会計補正予算
(第1号)

国民健康保険税の税率変更に伴う改正

県支出金の増額など

こんなこ

・世羅町介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する条例の一部を改正する条例

介護保険法の改正に伴う改正

・世羅町税条例の一部を改正する条例
生産性向上特別措置法の公布に伴う改正

発委

・地方財政の充実・強化を求める意見書の提出

・平成30年度世羅町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

地域支援事業費の増額など

承認事項

・専決処分の承認

世羅町税条例の一部改正

世羅町国民健康保険税条例の一部改正

陳情

・町道認定の要望 外3件

第1回臨時会

平成30年5月7日に開会した第1回臨時会で、侮辱に対する処分要求の件について、懲罰特別委員会審査報告に基づき、質疑及び討論を行い、委員長報告のとおり賛成多数で可決された。

新原 浩議員に対する処分要求については、「懲罰を科さない」とすることに決定した。
下原嘉雄議員に対する処分要求については、「懲罰を科さない」とすることに決定した。

報告します 委員会は 今



現在のさかえ浄水場

安心安全な さかえ浄水場

産業建設常任委員会

現地調査

①陳情第5号（町道認定の要望）

下津屋林道の一部について状況確認を行った。要望路線については町道認定基準を満たしている。

②陳情第6号（町道延長の要望）

町道山之口線の延長要望について状況確認を行った。要望路線については町道認定基準を満たしている。

③町道西川2号線改良工

事の対応状況

この路線の改良については、平成26年に陳情要望が提出され議会として採択している。再度現状の視察を行い、地元要望を確認した。

④さかえ浄水場

施設の現状、安全管理について、上下水道課にて説明を受け、上下水道の安定供給の確認を行った。

事務調査

①上水道の供給と管理

さかえ浄水場は、浄水能力1日2000m³。供給に対し、主に芦田川から70%、山田川から30%取水している。残りの水源は緊急時の取水として管理している。ろ過設備の交換などについては、代

替え設備を用意し、供給ができない状況は作らない。

危機管理対応の訓練などを行うことが必要であるという意見が出され、安定供給のための訓練実施に関する考えが示された。

②さかえ旧浄水場の維持管理について

現在は備品倉庫として使用しているが、施設の利用計画については、今後検討するという説明を受けた。

③農業法人連携の取り組み

世羅西地区の集落法人「(有)こめ奉行」と「(農)穂MINORI(みのり)」の2法人では、農地中間管理事業を活用し、点在する農地を効率的に集約することに取り組んでいる。これによりコスト

削減が期待でき、課題である後継者・労務管理などについても話し合いを行っている。

世羅西地区では、水稻栽培の基礎知識、土壌管理、業務用米、水稻の新しい栽培方法など、基本的なことを確認するための「水稻栽培スキルアップ塾」を開催している。

④地域商品券（とくとく商品券）発行事業

・経済効果の検証
商工会からの提案により事業化し、12回目を迎えた。平成29年6月から11月の間で、2億6千万円余の購入があり、町内消費に効果があがっている。

加盟店と消費者にアンケートを行い、事業の検証を行っている。平成28年度と比べて、来客数は増加し、店の宣伝効果に

ついて、「大いにあった、多少あった」が59%、「ついで買い」については、「多少あった」が31%、スタンプラリーについては、応募者は61・

3%といずれも増加している。

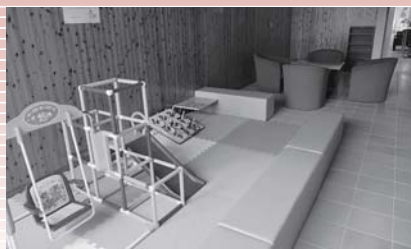
アンケートには若い人の回答が少なく、60歳以上が多い。若い人が地域商店を利用していないのか、単にアンケートの回答がないのか、分析の必要がある。

とくとく商品券の安定的な地域内消費を維持継続するために、プレミアム率を10%としている。

また、商工会加盟店の増加については、経営指導員による指導の効果が大きいという考えも示された。

⑤陳情に対する執行部の考え方（陳情第3号）

電気設備工事の分離発注の継続を求めるものである。分離発注により期待できる効果は、専門業者が直接施工することにより、高い品質が保証される。分離発注していない理由としては、工事費が増加すること、町内に専門業者が限られていることから、本町では現在行っていない。



子育て世代の集いの場に

小国自治センターに子育てカフェスペース

総務文教常任委員会

現地調査

小国自治センター

平成30年4月から、せらにし支所とせらにしタウンセンターの一部を改築し、増築した事務室棟と合わせて利用しやすい小国自治センターに生まれ変わった。移転後は、世羅西地区全体の活動による利用もあり、事務量は増加している。視察

事務調査

①過疎債、合併特例債の状況

平成29年度決算見込み残高は、合併特例債7億392万円、過疎債36億3559万円。

合併特例債は、発効期限が5年間延長されたので、計画の見直しを行い、建設事業を具体化する。

平成30年度当初予算では過疎債5億6680万円計上。ハード事業では町道改良、三原

中も手芸サークルや、女性のためのフィットネスの利用があった。新たに子育てカフェスペースができ、子育て世代の利用が期待できる。

広域不燃物処理工場負担金、公共下水道事業繰出金、浄化槽設置整備事業の計4億7950万円。

ソフト事業で、浄化槽維持整備事業、飲料水整備事業補助に8730万円となっている。過疎債は、要望額が満額つく状況ではないので、それを踏まえて予算化。今後もある利な地方債を活用し事業に取り組むという考えが示された。

②小中学校の教職員体制

・臨時的任用職員、非常勤講師の状況
県費臨時的任用職員：小学校5名・中学校1名

県費非常勤講師：小学校13名・中学校12名
町費教育補助員：小

学校10名・中学校3名

町費介助員：小学校8名・中学校1名

教員の確保については単町では限界があるので、県教委などの関係機関と密接に連携をとりながら対応。また、教育補助員や介助員に対する財政措置についても教育長と県教委とのミーティングで内情を伝えて要望する。

③町内文化財の管理及び保管状況

町内の指定文化財件数：国指定6件・県指定32件・町指定138件の計176件。

文化財保存事業補助金活用状況：平成25、28年度は各1件、29年度は3件。

指定文化財保管状況

：寄贈4件・寄託8件
防犯上の問題や建物の老朽化などにより地域の管理が困難な場合は、町への寄贈をすすめているが、所有権は所有者にとどめたまま、資料館などで展示・

保管する寄託も行っている。

④世羅高校教育環境支援補助金について

次世代を担う人材の確保及び育成のための教育環境整備に対して補助金を交付。

平成29年度の事業内訳

生徒確保事業

351万円

部活動活性化事業

181万円

学習環境整備事業

251万円

農業研修

9万円

教育の充実には地域活性化にも必要不可欠であり、そのための補助金であるが、補助事業の内容についての検証が不十分という意見が委員から出された。世羅高校とも連携を取りながら成果についても検証する必要がある。

⑤児童発達支援事業所（すずらん）の運営状況

・平成30年4月から運営が株式会社のとテッ

クから社会福祉法人みづば会に移行。

現在の支援内容は、児童発達支援：未就学の障害児の療育支援

放課後等デイサービス：6、18歳までの障害児の療育支援

⑥介護保険料の改定に伴う運営状況

・保険料負担の状況
介護保険の1号被保険者数は、平成29年度末で6674人。要介護認定者数は1502人で認定率は22・3%となっている。

第7期の標準介護保険料月額額は、6180円で第6期から280円の増額となっている。

介護保険の改正により、平成30年8月より、介護サービスの自己負担割合が2割負担者のうち特に所得の高い層の負担割合が3割となる。本人所得が220万円以上で、単身で340万円以上、世帯合算で463万円以上が対象となる。

意見交換会開催（議員定数・議員報酬）

議会改革調査特別委員会

◎議員定数及び議員報酬について

●意見交換会

議員定数及び議員報酬に関する意見交換会の会場及び開催日についての協議を行い、次のとおり決定した。

甲山地区（5月19日、

甲山保健福祉センター）

世羅地区（5月26日、

せら文化センター）

世羅西地区（6月2

日、せらにしタウンセ

ンター）

意見交換会はワークショップ形式で実施することから、進め方などに関する検討を小委員会に付託して、具体的な内容の検討を行うことも決定した。

※各地区意見交換会の詳細は、下記のとおり。

●住民アンケート

7月、8月で実施予定の住民アンケートに
関し、アンケート内容
と実施方法についての
協議を行った。

アンケート項目は、

①議会の評価、②議員

定数、③議員報酬額、

④議会への要望とし、

7月発行の議会だより

へ、ハガキ書式を印刷

することとした。また、

議会だより配布と併

せ、各自治センターへ

アンケート用紙と回収

ボックスを期間限定で

設置させていただく依

頼について決定した。

◎人権研修

研修テーマについて
各委員から、①子ども
の人権、②女性の人権、
③同和問題、④インター
ネットと人権等の希望

◎一般質問の運用について

議会運営委員会から
提案を受けた「一般質
問の議論を更に深める
ため、質問通告書に
対する最初の答弁書を
事前に受け取ること」
を、執行部に求めるた
めの協議を行った。

協議の中で、一問一
答の質問形式を効果的
にするため、質問時間
（現在45分）の短縮が必
要であるという意見も
出された。

◎議場で行う委員会のケーブルテレビ放映について

現在議場で行ってい
る予算・決算審査特別
委員会のケーブルテレ
ビ放映について、町長
からの回答を受け、今
後の委員会で実施に向
けて協議することを確
認した。

●各会場で出された主な意見

	議員定数	議員報酬
甲山会場（6名）	（多い）・減らしてもよい。少数精鋭で。	（高い）・意見なし。
	（少ない）・意見なし。	（低い）・実績主義。 ・総額は変えない。
	（現状維持）・今のままでよい。	（現状維持）・報酬とは別に政務活動費を支給。
世羅会場（6名）	（多い）・10人ぐらいでよい。 ・本気で活動しているのか。	（高い）・意見なし。
	（少ない）・地域から一人は出てほしい。 ・地域の意見を吸い上げてほしい。	（低い）・若い人が出られない。生活できない。 ・月額3万～5万円は上げるべき。
	（現状維持）・減員すれば町民の声が町政に届きにくくなる。 ・住民代表としてそれなりの人数は必要。	（現状維持）・議員のなり手不足に報酬が直結するのか。 ・評価により議員間での差があってよい。
世羅西会場（13名）	（多い）・2人減とし、報酬を上げるべき。 ・12人がいいのではないか。	（高い）意見なし。
	（少ない）・地域の代表としてもう少しいてもよい。 ・多様な意見を聞くために増やしてもよい。	（低い）・若い人に出てほしいので、上げてよいのでは。 ・定数を減らして報酬を上げるべき。 ・3～5万円上げてよい。 ・23年間報酬は据置きであり上げるべき。
	（現状維持）・今の時代だからこそ、減らすべきではない。 ・最低でも14人は必要である。	（現状維持）・議員報酬の判断材料が見えない。 ・議会改革の取り組みが不足している。

※ LGBT…性的少数者を指す言葉

提出議案等の採決結果

第2回世羅町議会定例会（平成30年6月）

（報告を受けたもの）

議案番号	提 出 議 案
報告第3号	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について
報告第4号	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について
報告第5号	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について
報告第6号	平成29年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
報告第7号	平成29年度公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

（賛否の分かれたもの）

議案番号	提 出 議 案	採決	福田	重森	米重	高橋	山田	盛谷	矢山	久保	新原	生田	藤井	實久	下原
議案第46号	工事請負契約の締結について（町道西川本線月山橋橋梁架け替え工事（下部工））	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
議案第47号	世羅町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第48号	世羅町介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
陳情第4号	2019年度地方財政の確立に関する要請	採択	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○
陳情第6号	町道延長の要望について	採択	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○
発委第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	○	○

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

（全員一致で決定したもの）

議案番号	提 出 議 案	採決
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（世羅町税条例の一部改正）	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（世羅町国民健康保険税条例の一部改正）	承認
議案第45号	工事請負契約の締結について（（仮称）大田研修拠点施設整備工事）	可決
議案第49号	平成30年度一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第50号	平成30年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第51号	世羅町税条例の一部を改正する条例	可決
陳情第3号	電気設備工事の分離発注の継続を求める陳情書	採択
陳情第5号	町道認定の要望について	採択

第1回世羅町議会臨時会（平成30年5月7日）

提出議案	採決	福田	重森	米重	高橋	山田	盛谷	矢山	久保	新原	生田	藤井	實久	下原
侮辱に対する処分要求の件（新原浩議員）	懲罰を科さない	○	○	○	●	○	○	○	○	※	○	●	●	欠
侮辱に対する処分要求の件（下原嘉雄議員）	懲罰を科さない	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	●	○	欠

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ※：除斥 自己に関する案件であるため、議事に参加することができません

請願・陳情を審査しました

6月定例会において、4件の陳情審査を行い、本会議で採決しました。

番号	件名	請願・陳情者	委員会の意見・結果	採決結果
3	電気設備工事の分離発注の継続を求める陳情書	一般社団法人 広島電業協会 会長 小畑 博文	現在世羅町では分離発注による業務は行っていないが、地元中小企業を優先すべきであり、工事等の内容によっては分離発注方式も取り入れるべきという意見が出され、賛成多数で「採択すべきもの」と決定。	採 択
4	2019年度地方財政の確立に関する要請	自治労世羅町職員労働組合 執行委員長 宮本 英明	社会保障や税制等に関する要望であり、地方自治体の行政運営に直接関係しているという意見が出され、賛成全員で「採択すべきもの」と決定。	採 択
5	町道認定の要望について	下津屋組代表 山口 寛昭 外 21 人	要望道路の現状は舗装もされ十分な幅員も確保されている。町道認定の要件を満たしており地元意見を尊重する必要があるという意見が出され、賛成多数で「採択すべきもの」と決定。	採 択
6	町道延長の要望について	下津屋組代表 山口 寛昭 外 21 人	要望道路の現状は舗装もされ十分な幅員も確保されている。町道認定の要件を満たしており地元意見を尊重する必要があるという意見が出され、賛成多数で「採択すべきもの」と決定。	採 択

ありやあ どうなったかの～

小・中学校の トイレの洋式化

一般家庭では、生活様式の変化に伴いトイレも洋式へと変わりつつある。しかし、学校トイレの多くは和式トイレで、子どもたちから「使いづらい」という声があがっていた。

中には、小学校入学の際に和式トイレの練習をしていたという話も聞いている。

平成28年第4回定例会での議員からの「学校トイレの洋式化」についての一般質問をきっかけに、洋式化への取り組みが始まった。

平成28年度時点で、小・中学校併せて258個の便器のうち、洋式便器は74個、洋式化率28.7%の状況であった。

【それからどうなった？】

平成29年度新規事業 学校トイレ洋式化事業・972万円予算計上

- ・平成29年度 せらにし小学校・せらひがし小学校・世羅中学校で改修工事
- ・平成30年度 世羅小学校・甲山中学校・世羅中学校での改修工事を予定
- ・平成31年度 甲山小学校、世羅西中学校を実施予定により全校完了



使いやすくなったトイレ

ズバリ 町政の課題

12議員23問を^{ただ}質す

一般質問とは？

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告・説明を求めたり、質問することを一般質問といいます。

質問時間は1人45分以内で、答弁時間は含みません。

ページ	質問者	質問事項
11	久保 正道 議員	1. 道路・河川の安全管理は万全か 2. 成年後見制度利用及び権利擁護体制は
12	實久 誠 議員	1. 町民軽視、議会軽視の町政を問う 2. 税金の滞納にかかる適正な事務執行は
13	山田 睦浩 議員	1. 学校給食センターの現状と今後の展望は
14	重森 博之 議員	1. 町内の歴史観光資源をどう考えるか 2. 今高野山駐車場トイレの改修は
15	藤井 照憲 議員	1. 好循環の地域づくりは 2. 快適で安全な暮らしの基盤づくりは
16	福田 義人 議員	1. 高齢者に優しいまちづくりを 2. 有害鳥獣対策の充実を
17	盛谷 光明 議員	1. 胃がん発生予防対策は
18	新原 浩 議員	1. 町の情報伝達の取り組みは 2. 害虫駆除の対応と支援は
19	下原 嘉雄 議員	1. 高齢化地域の生活支援策は 2. 文化財のデータベース化と公開は
20	生田 智康 議員	1. 町長公約所得倍増計画の実現は 2. 防災無線未設置分6500万円は
21	矢山 武 議員	1. 国保税6年後の見通しは 2. 米価の今後と森林の活用を 3. 教育の充実と貧困対策は
22	米重 典子 議員	1. 健康な町づくりは 2. 畜産農家の現状と支援策は

道路・河川の

安全管理は万全か

答 通常の管理点検を実施

久保 町内に所在する県道、町道の安全性をどのように担保しているのか。

町長 橋梁、トンネル、道路付属物については、5年ごとに法定点検を実施。点検結果に基づき、診断結果の悪いものから順次補修を実施している。

舗装や法面について

点検・診断を実施しており、通常の点検、業務委託点検、更には住民の方の要望など情報も併せて管理を実施し、緊急度の高い順に補修している。

久保 河川についても、馬洗川上流、美波羅川上流、黒淵

川、戸張川、田打川など土砂の堆積が多い河川があるが、※浚渫されていない。今日まで、県へ対してどのような取り組みをしてきたのか。

町長 県管理河川については、県に対して要望をしていく。町管理河川については、年に一度の定期点検を実施するとともに、通常の点検や住民の通報により対応している。

久保 これから梅雨、台風の大雨による河川の氾濫が予想される。防災面からも早期に課題解決をすべきではないか。

町長 河川については、改良工事の実施が最大の安全策と考える。全ての河川で実施するには時間を要するため、まずは補修対応など、できるだけ早期に実施することが必要と考える。



久保 正道 議員



防げるか河川の氾濫

成年後見制度利用及び

権利擁護体制は

答 連携機能強化を推進する

久保 国は、平成28年5月に「成年後見制度の利用促進に関する法律」を施行し、基本計画を平成33年までに策定することとしている。

世羅町の福祉計画

において、地域の権利擁護体制の構築に向けて、推進・組織体制、方法をどうするのか。

町長 法律・福祉の専門職団体などと連携体制を作ることが重要と考える。

久保 利用者が安心して利用できる体制が必要である。直営と委託の方法があるが、直営では人事異動などで専門職が安定確保されるのか不安である。

町長 利用者が安心して環境を保障する計画策定をしたいと考える。国・県の動向を注視し、対応する。



今後見込まれる利用増加

※ 浚渫…河川などの底面をさらって、土砂などを取り除くこと。



實久 誠 議員

町民軽視、議会軽視の町政を問う

答 世羅町版総合評価を準備

實久 町長の町政運営に関する質問を繰り返して行ってきたが、住民のより良い暮らしを実現するという価値観が見えて来ない。12年間で概ね10億円のゴミ収集料が支払われている。適切な価格で血税が使われれば、私的個人でなく世羅町民全体が潤うのではないか。納税者である

町民軽視にあたる。町政運営と町民との透明性が全くない。ゴミ収集を一般入札にすれば1日5万円、委託だと62万円。なぜ13倍の差があるのか。

町長 ごみ行政が大きく転換する時期である。世羅町版総合評価導入の準備を進めている。

平成30年度ごみ収集契約金額67,348,800円
 可燃ごみ一般業者は5万円 委託業者8倍の396,675円
 資源ごみ一般業者は5万円 委託業者13倍の622,500円
 不燃ごみ一般業者は5万円 委託業者12倍の571,500円
 一般業者ですと1日50万円の減税が可能。
 税金の無駄遣い。町民の気持ちを考える。

縮減できないかゴミ収集業務費用

實久 浄化槽の保守管理の法定検査については、県の指定検査機関が行う年1回の法定検査と、民間事業者が行う清掃維持管理がある。設置者である町民には二重の負担となっているが、どちらかを廃止することはできないか。

町長 国の浄化槽法により設置者自らが行うこととなっている。負担軽減の施策として、条件に応じ維持管理補助金を実施している。

實久 サンシャインせらが出していた事業系ごみを町の委託業務で収集していたことについて、町民に負担させず損害金を請求すべきと考えるがどうか。

求することは考えていない。

實久 学校給食センターへの民間業者のごみ持込みに対する契約不履行と損害賠償について。

町長 合併以前から行われていたもので、指示した経緯が不明確であり、損害を請

町長 損害額の確定に向けた協議を行っている。

税金の滞納にかかる適正な事務執行は

答 適正な徴収事務を執行

實久 長期間における税金滞納者に対して、税の公平性からも適切な徴収事務を行う必要があると考えるが。

實久 滞納者に対する差し押さえは公平に行っているのか。

町長 執行にあたっては、常に納税者間の公平性の確保に努めている。

町長 督促状、催告書、警告書、更に差し押さえ予告通知書を送付し、徴収に努めている。



山田 睦浩 議員

学校給食センターの現状と今後の展望は

答 新規の施設整備を検討

山田 二つある学校給食センターは築20年から30年経過しており、建物や設備機器の老朽化が進んでいる。設備の中には一旦故障すると部品調達も困難となる中で、建物の現状など町の考えを問う。

教養員 世羅学校給食センターで1009食、せらにし学校給食センターで206食。一日の最大調理可能数は1300食となっている。



今日も美味しくいただきます

山田 食材の地産地消率は。

教養員 平成29年度では、町内産品の食材利用は約5割、延べでは137品目ある。天候の影響により収穫量が左右されるが、今後も積極的に取り入れたいと考えている。

山田 アレルギー対応食は。

教養員 他の給食と同じ場所、職員が細心の注意を払って調理している。

山田 建物及び機器設備の状況は。

教養員 老朽化した機器も多く、故障した際にはその都度修繕をしている現状。機器を購入する場合に、新しい施設でも対応可能なものとして。

山田 設備更新時の代替給食は。

教養員 代替給食を確保しなくても施設更新できるように検討したいと考えている。

山田 炊飯設備の考えは。

教養員 今年度2升炊き3台を購入し、給食試食会などで試験的に提供している。児童生徒や保護者からの意見を参考に米飯給食の導入について検討する。

山田 今後、施設を統合する考えはあるのか。

教養員 2つの給食センターの建設年度が違いため、当面、世羅学校給食センターの老朽化への対応を中心に検討する。将来は、食育の充実、地産地消、アレルギー対応など食に関するトータル的な視点から、保護者をはじめ町民の皆様の理解や協力を得ながら、新規の施設整備について検討したいと考えている。



築30年の世羅学校給食センター



重森 博之 議員

町内の歴史観光資源を どう考えるか

答 安全かつ永年にわたり
保存保護する

重森 重要文化財の保存や活用に関する考え方は。

教育長 保存については、安全かつ永年にわたり保存・保護していくことが重要と考える。
現在は無住となっている寺社などへ、必要に応じて人感センサーライトや消火

器などを設置している。
移動可能な文化財は、所有者の了解を得て歴史館で防虫の燻蒸消毒をしている。
指定文化財そのもののほか、保存施設の修繕などにも補助金を活用していただき、平成29年度には3件の補助事業を实

施した。
指定文化財の活用については、ご神体や秘仏の場合、宗教上の性格や公開に伴う安全性の確保など、慎重に行う必要があり関係者と十分協議をしていく。

重森 大田庄歴史館を知らない、入館していない町職員もいると思われるが実態把握は。

教育長 どの程度入館しているのか把握はで

きていないが、その都度情報を提供し訪館を促している。

重森 採用職員は、歴史・文化を知り町の振興につなげるため、大田庄歴史館を訪れるべきと考えるが。

教育長 町内各小・中学校に赴任した新規採用教職員の研修の中で、大田庄歴史館を含む文化財現地研修を毎年実施している。

今高野山駐車場

トイレの改修は

答 今年度修繕工事を実施

重森 設置から年数も経過しており、清潔感もない。
町の観光の表玄関でもある今高野山にふさわしいトイレの改修は。

町長 設置から年数が経過し老朽化しており、大改修まではできないが維持修繕の予算化をしている。
トイレを含め一帯の環境美化に取り組む。



観光地にふさわしいトイレに



藤井 照憲 議員

好循環の地域づくりは

答 早期の経営安定に向け
継続的に支援

藤井 地消地産の経済
対策は。

町長 商工会の経営指導員と連携し、創業支援事業補助金の活用による新規創業が増加している。

藤井 町の特色の発揮と新たな経営支援は。

町長 世羅高原6次産業ネットワークと世羅郡飲食組合、農業者と商業者や飲食業者とのつながりが芽生え、今後、より一層の連携の輪の広がりを期待する。

藤井 地域経済の循環は。

町長 時代に対応した経営の高度化、技術革新、人材育成支援など、中小企業対策の強化を図る。

藤井 企業団地整備の具体化は。

町長 多額の投資費用を要するため、町が実施主体となる団地整備は困難である。

藤井 遊休施設活用による起業家支援は。

町長 世羅町未利用資産活用支援事業補助金で必要な支援を行う。

快適で安全な暮らしの 基盤づくりは

答 施設の統廃合、
道路再編の検討も必要

藤井 高速交通網の整備は。

町長 広島中央フライトロード推進協議会において、残る世羅町区間14kmを県及び国に対して要望活動を行っている。

藤井 福塩線の具体的な利用促進は。

町長 福塩線対策協議会を中心に、イベントを実施する際補助をしている。

藤井 町道・農道・林道・橋梁などの老朽化と管理計画は。

町長 従来の事後保全型の方法から健全度を調査し、計画的に予防保全を行う方法により、コスト削減を図っていく。

藤井 道路維持管理の将来見通しは。

町長 効率的な管理方法を研究し、町道の再編や管理頻度の差

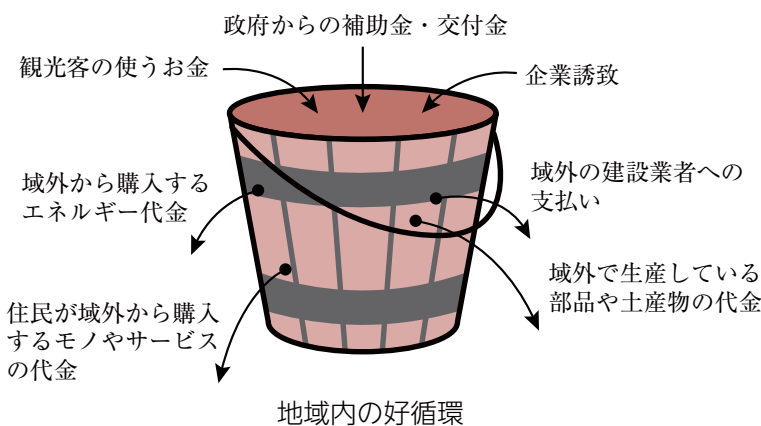
別化なども考慮に、議会や町民の皆様の意見も取り入れ、最良の方法を検討する。

藤井 防災訓練の実施は。

町長 現在までに3か所の地域で実施し、今後4か所で予定する。

藤井 南海トラフ地震への対応は。

町長 県内の最大震度は6強、世羅町は最大震度5強を想定。大規模地震発生時、町の情報伝達は国の※Jアラート情報を行政防災無線により皆様に伝達する。



※ Jアラート…全国瞬時警報システム。



福田 義人 議員

高齢者に優しい

まちづくりを

答 デマンド交通で対応する

福田 高齢者の交通事故が増加傾向にあり、免許返納された高齢者も多い。公共交通機関が少なく買物や通院などに支障をきたしている。

よって、高齢者の生活と行動をサポートしてはどうか。

町長 ドア・ツー・ドアで町内どこでも行ける「せらまちタクシー」が本町の移動手段と考えている。

福田 現在のデマンド交通では、周辺の集落から乗った人は、1.5時間くらい掛ける。改善が望まれているが。

町長 住民の皆様の移動手段の確保について、路線バス・せらまちタクシーなどと効率的に連携が図れるあり方について、引き続き検討する。



遠方利用者の利便性向上を

有害鳥獣対策の

充実を

答 事業内容の周知徹底に努める

福田 住民は有害鳥獣の被害防止の強化を望んでいるが、柵の設置には限界があり個体数の減少が急務。また熊の出没が報告されており警戒を促された。

身近に迫る鳥獣被害対策のため専門係専門員を設けたが、町の対応と住民のすべきことを具体的に問う。

町長 昨年度から専属の係と専門員を設けた。効果を上げてきた。国・県の補助金を受けメッシュ柵の設置やモデル園、柵の見回りなど効果的な対策を指導助言している。

福田 パトロール隊は行政と住民の中間に位置して活動してこそ、住民要望に応える。効果がでると考える。パトロール隊の活動の現状と効果を問う。

町長 実施隊は捕獲任務と併せ、パトロール隊の役目も担っている。住民からの通報があった場合、現地確認、被害確認を行い、必要な場合捕獲を行っている。

胃がん発生

予防対策は

答 がん検診推進による

早期発見・治療を

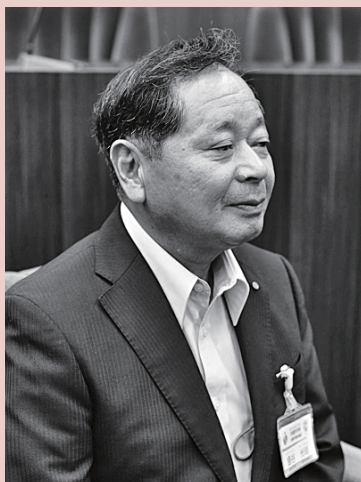
盛谷 胃がんになるリスクが高まるとされる「ピロリ菌」を早期に除去する目的で中学生を対象に検査を導入する自治体が増えている。

ピロリ菌がもたらす悪影響に注目が集まり国際機関や医師らが検査を推奨して

いる。検査に対する自治体の費用負担は軽く「将来的に地域の医療費の抑制をしたい」との思いがある。

町長 特定検診やがん検診の受診率向上に努めている。

4月広報と一緒に



盛谷 光明 議員

「世羅町健診のしおり」を配布するとともに、地域のイベントでの呼びかけや電話勧奨など、あらゆる機会を利用し周知徹底を図っている。

がん対策については、科学的根拠に基づいたがん予防・がん検診を実施し、がんに対する正しい知識を持ち、がんになっても早く見つけてしっかり治すことが重要と考え、保健事業を推進している。

盛谷 中高生ら若い年齢層での検査については、保護者の同意の有る希望者のみの実施が原則である。ピロリ菌と胃がん発生との関係を十分に理解頂き、将来自分の子どもが胃がんにかかる確率がほとんどゼロになることを思えば大部分の方

は希望されるのではないかと考える。

近いうちに

中学生を対象にピロリ菌の検査・除菌を実施できるような検討しては。

町長 無症状の生徒に対する安全かつ有効な除菌はないとされていることもあり、検査を受けることの利益と不利益について、また国や県状況、各関係機関などの考え方について研究したい。

盛谷 中高生ら若い年齢層での検査については、保護者の同意の有る希望者のみの実施が原則である。ピロリ菌と胃がん発生との関係を十分に理解頂き、将来自分の子どもが胃がんにかかる確率がほとんどゼロになることを思えば大部分の方

保存版
平成30年度版

世羅町 健診のしおり 申込書

世羅町民のみなさまへ

30歳以上のあなたが対象です！

せらの世羅町

詳しくは、中をご覧ください！

ただし
※一部個別がん検診は、40歳以上が対象です。
※一部女性がん検診は、20歳以上が対象です。

お問合せ先 世羅町健康保険課(世羅町世羅保健福祉センター内)
☎(0847)25-0134 FAX(0847)25-0070

みんなで受けようがん検診



新原 浩 議員

町の情報伝達の

取り組みは

【答】町から迅速な

情報発信を実施

【新原】平成20年度から開始したケーブルテレビと、平成29年度実施の防災行政無線のデジタル化に関する、これまでの検証と今後の取り組みについて。

【町長】町内災害に対する注意喚起及び細かな避難情報については、防災行政無線が迅速に伝達できる。また、伝達を補完するケーブルテレビにおいては、火災情報や大雨警報、避難情報などが発令され

た場合にお知らせしている。

【新原】地元情報の発信は。

【町長】行政情報をはじめ、町内で実施される様々な行事やイベントを多くの方々に伝えることができるよう努める。

【新原】モニターの活用は。

【町長】ケーブルテレビ放送に対する評価、要望、意見を把握するため番組モニターを依頼し、意見交換やアンケートの実施により番組の充実を図りたい。

害虫駆除への対応と支援は

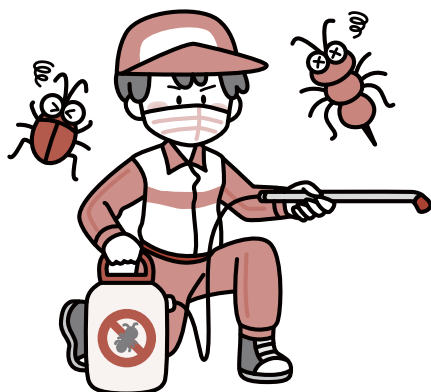
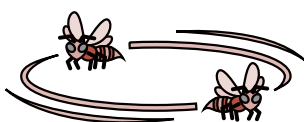
【答】町内業者を紹介

【新原】特にハチの活動が最盛期になる夏に向けて、町の対応と支援は。

【町長】平成29年度での害虫被害報告はない

が、ハチや白アリなどの相談は2〜3件ある。職員によるハチなどの駆除の取り組みは行っていない。害虫駆除は、土地建物

の所有者及び管理者の責任で行っていたため、町内の民間業者を紹介している。





下原 嘉雄 議員

高齢化地域の

生活支援策は

答 地域に相応しい

集落形成を

下原 周辺部の高齢化は急速に進んでおり、地域社会でのストレスが増大している。

例えば地域行事の構成単位は徐々に減少し、しかもひとり住まいが多くなっている。行事への参加が難しくなり、地域に迷惑をかけることとなる。

町長 持続的な地域づくりに向けた取り組みとしては、地域活動や行事をすでに他の地域と一部合同で

町長 持続的な地域づくりに向けた取り組みとしては、地域活動や行事をすでに他の地域と一部合同で

されているところもある。お互いの地域で話し合い、地域にふさわしい形の集落形成をお願いしたい。

町としては、協働のまちづくりの推進を図り、人材育成、組織の育成に対する支援を行う。

文化財の

データベース化と公開は

答 実現に向け取り組む

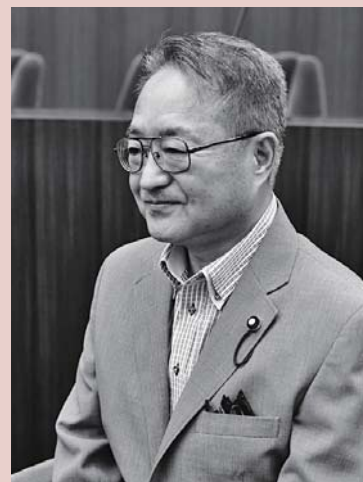
下原 町内にある文化財は、ホームページでは数点のみ公開されている。スマートフォン、タブレットで閲覧し、容易に訪ねられるようデータベース化してはどうか。

教員 データベース化については、スマートフォン、タブレットの普及状況から必要と考えるが、現状では対応が難しく、新しいホームページ作成ソフトの

導入や、各種ソフトなどの機能調査を含め検討段階である。



広島県重要文化財「廃万福寺塔婆」



生田 智康 議員

町長公約所得倍増

計画の実現は

答 長期総合計画等の計画目標達成に今後も取り組む

生田 平成25年から平成29年までの所得の

伸び率は、

所得向上	雪だるま式で
金もけは	(無い袖から振る袖)
一例	米30kg 6,700円
	米30kg 15,000円
売ってくださる人	公募で
売先、一例	大妻学院校
ふる里納税の強化	
3万5千円寄付	1万円分返す
客実質2,000円	米で20kg売る

公約の行方は

町長 平成25年分を100とした平成29年分の給与所得は104、営業所得は115、公的年金所得は97、農業所得は赤字だが赤字幅は十分の一に減少。所得合計では102となり、2ポイント上昇した。

生田 今後、所得倍増策は何を考えているのか。

町長 商業の分野では、新規創業支援、企業立地支援、事業承継支援を関係機関と連携し取り組んでいる。

農業の分野では、世羅ブランド確立、担い手育成支援をはじめ、より高収益化、生産販売力の向上を図る課題に取り組んでいる。

防災無線未設置分

6500万円は

答 設置の必要性を訴える

生田 約1000件の未設置だが、事前調査や確約書はとったのか。

生田 在庫は故障に備えるものとしていますが、何台が故障すると試算したのか。

5月末までに何台故障があったのか。

町長 当初計画から町内全世帯を対象として進めてきた。そのため、事前調査や設置確約書の徴収は行っていない。

町長 故障に対する試算は行っていない。23件の電波受信などの連絡があり、内5件を

メーカー保証により機器交換を行った。

生田 5月末までの新規設置世帯数は、

町長 28件の新規設置を行った。

生田 今後、未設置者への働きかけはいつまでを目途にするのか。

町長 町が主体となり、町広報や防災訓練時など様々な機会を活用し、防災行政無線の設置の必要性を訴え推進を図る。

デジタル
防災無線
6500万円の損
約1,000件設置辞退
23%未設置

防災情報を町内全域へ



矢山 武 議員

国保税6年後の見通しは

答 公平性の確保と医療水準の適正化に取り組む

矢山 法定外繰入の中止や統一保険税により激変緩和を6年で行う方向ではあるが、負担増が続くのではないか。

国が社会保障の後退を進める中で、町独自の対応を考えるべきである。まずます入院が難しく、充分な治療が受けられなくなるのではないか。

町長 6年後の見通しは、県から準統一保険料率が示され、資産割は廃止、所得割は横ばい、平等割、均等割が上がる見込み。保険料率は、医療費の状況や所得状況、収納率などで変動する。

県と市町で共通認識を持ち、公平性の確保と医療水準の適正化に取り組む。

米価の今後と

森林の活用を

答 各種交付金活用による

地域支援を

矢山 生産調整の終了で、生産費がまかなえない米価は、下がるのではないか。国が自由化を進めて、所得は増えているのか。

町長 TPPの動向如何に関わらず、今できる取り組みを進めるため、生産者が有利な経営判断ができるよう、きめ細やかな情報提供を行う。



地域でのバッファゾーン整備の取り組み

教育の充実と

貧困対策は

答 教員確保と

貧困対策を進める

矢山 教育条件の充実が求められるが、臨時教員の状況はどうなっているか。

矢山 給食の無料化など子どもの貧困対策が必要ではないか。

教員 臨時的就任教員は小学校5人、中学校1人の6人で7%、非常勤講師は中学校のみで5人、13・5%であり、臨時的任用教員の確保に努めている。

教員 貧困対策については、県の実態調査を分析し、支援など具体的な取り組みを進めたい。

矢山 森林の活用を所得に結び付ける対応が、イノシシ被害を少なくすることになる。町の取り組みは。

町長 集落周辺の環境保全や鳥獣害対策については、里山林整備事業やバッファゾーン事業などを活用し、鳥獣害からの農作物の被害を最小限に食い止め、農業所得の向上につながるよう、地域の環境整備の支援に取り組む。



米重 典子 議員

健康な町づくりは

【答】「健康せら21」

策定により取り組む

【米重】健康せら21（第1次）の検証による課題は。

【町長】・若年層（20～30代）の健康意識が低い。
・特定健診、がん検診の受診率が目標未達成。
・がん検診精密検査受診率が低い。

・健康を支え守るための地域のつながりが弱い。などの課題が挙げられる。

【米重】「ライフステージに応じた生活習慣の確立」について。働き盛り期（20～60代）の課題は。

【町長】地域や職場での健康づくり活動の支援、生活習慣病の発症や重症化の予防。

【米重】若年層への健康に関する意識づけは。

【町長】朝食の摂取や栄養バランスの意識が低い。ため、食に関する啓発を行う。

【米重】「こころの健康」づくりの推進は。

【町長】心の健康づくりに関する講演などによる啓発と共に、「相

談の場が少ない」という課題解決にも取り組みたい。

【米重】健康マイレージ制度について

【町長】高齢者を対象として、スポーツや健康づくり、社会奉仕活動などにポイントをつけて、特典が受けられる制度で、今年度検討を開始している。



健康のことを考えていますか

畜産農家の

現状と支援策は

【答】クラスター計画により

収益性向上を

【米重】持続的で生産性の高い畜産経営への支援策について。

※畜産クラスターとは。

【町長】畜産農家をはじめとする地域の関係者が連携し、収益性を高め、生産基盤の強化を図るもの。

【米重】労働負担軽減対策は。

【町長】クラスター事業による機械導入や、酪農ヘルパー事業費助成などが、負担軽減に繋がると考える。

【米重】担い手育成は。

【町長】後継者育成確保事業や、農業次世代人材投資資金を4経営体が活用されている。

【米重】耕畜連携の推進は。

【町長】酪農や肉用牛部門では飼料用稲、養鶏や養豚部門では飼料用米の生産と供給について、集落法人などと連携を図り、良質な堆肥の生産と供給も併せて、耕畜連携による経営の安定、収益性の向上を推進したい。

※畜産クラスター…地域と畜産関係者がブドウの房のように結集すること。

アンケート調査のお願い

議会改革調査特別委員会

世羅町議会では住民の皆さまにとって身近な議会となることを目的として、議会改革調査特別委員会を設置して議会改革に関する調査研究を行っています。

現在委員会では、議員定数と議員報酬についての協議を行っており、この度町民の皆さまへのアンケート調査を実施することになりました。

アンケートは、下記の4項目の質問に関して「アンケート記入用紙」にご記入のうえ、**平成30年8月31日まで**にご回答ください。

■送付方法■

送付につきましては、次のいずれかの方法でお願いします。
なおアンケート記入用紙は、点線に沿って切り取ってください。

1. 郵便ポストに投函してください。（投函期限は8月31日です）
2. 役場本庁舎、せらにし支所及び各自治センターへ備えてある「アンケート回収箱」に入れてください。

※役場本庁舎、せらにし支所及び各自治センターへ備えてある「アンケート記入用紙」は、郵便ポストへ投函できません。

アンケート記入用紙

- ①評価する 評価しない（理由を④に記入）
- ②多 い 少ない 現状維持
- ③高 い 低 い 現状維持
- ④【ご自由にご意見をお書きください】

質 問

- ①現在の議会をどう思いますか。
- ②議員定数（現在14人）についてどう思いますか。
- ③議員報酬（現在月額210,000円）についてどう思いますか。
- ④議会に特に望むことはありますか。

※アンケート記入用紙は、役場本庁舎・せらにし支所及び各自治センターへ備えてありますので不足の場合はご利用ください。

性別 男 女 年齢 歳

ご協力ありがとうございました

表紙紹介



7月1日梅雨特有の蒸し暑さの中、第39回世羅郡消防ポンプ操法競技大会が開催された。選手の皆さんは、この大会に向けて夜間や休日返上の練習をしながら、本番を迎えられた。

消防責務の完遂、規律技能の習得はさることながら、地域防災への高い意識のもと、住民の安全安心に努めていただいていることを実感し、感謝の思いを新たにしました。

編集後記

今年も世羅に花観光の季節がやってきました。

先日訪れたバラ園でも、多くの観光客が訪れていて、色とりどりのバラの花にカメラを向けたりして楽しんでいました。

一方で、もう一つの観光資源として、世羅の歴史や文化財が注目されています。町内には多くの文化財が存在していますが、なかでも今高野山を中心とした歴史や文化財をもっと観光資源に活用すべき、という意見が今定例会でも出されました。

私たち町民も、「大田庄」という古い歴史のあるわが町の文化に触れる機会をもちたいものです。

(米重 典子)

今回は「元気な人紹介」をお休みします

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は
9月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議会広報広聴
調査特別委員会

委員長／米重 典子
委員／山田 睦浩・久保 正道
藤井 照憲

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。
議員に寄附を求めることも禁止されています。
年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。

郵便はがき

料金受取人払郵便

三次局
承認

236

差出有効期間
平成30年8月
31日まで
(切手不要)

7221190

(受取人)

世羅郡世羅町大字西上原
123番地1

世羅町議会
議会改革調査
特別委員会 行

